TOA

取扱説明書

スピーカーシステム

SR-F09
SR-L09
SR-L05

目　次

安全上のご注意 2
概　要 3
特　長 3
外観寸法図 4
入力端子の結線図 4
入力コネクター 5
接続のしかた 5
フライングのしかた 6
スピーカースタンド（SR-F09 用） 6
バイアンプ駆動への切り換え 8
デジタルプロセッサーの設定 11
仕　様 12

このたびは、TOA スピーカーシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号	行為を強制する記号
禁　止	強　制

⚠ 警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

工事は専門業者に依頼する

フライングの工事には、技術と経験が必要です。
技術や経験のない業者が工事を行うと、落下して、けがの原因となります。

強　制

設置場所の強度を確認する

取付金具類を含む全重量に十分耐えられる強度のある所に取り付けてください。
十分な強度がないと落下して、けがの原因となります。

強　制

フライング工事をするときの注意（SR-F09 のみ）

次のことを必ずお守りください。
守らないと、吊り下げワイヤーやベルトが外れたり、切れたりして、スピーカーが落下し、けがの原因となります。

- 吊り下げワイヤー、ベルトなどが重量物に対して十分な強度があること。
- 吊り下げワイヤー、ベルト側の金具がスピーカー側の金具に確実に固定されていること。
- すべてのパーツ（エンクロージャ、金具、ねじ類など）に変形、亀裂、腐食などが発生していないこと。
- 取り付けのためのねじ類は、必ずフライング金具に付属のものを使用すること。

強　制

⚠注意　誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

転倒・移動防止の処置をする

安定したところに据え付けてください。また、転倒・移動防止の処置をしてください。
守らないと、倒れたり、動いたりして、けがの原因となることがあります。

強　制

開梱や持ち運びは 2 人以上で行う

1 人で行うと、落下したり、転倒したりして、けがの原因となることがあります。

強　制

使用するとき

製品の上に乗らない

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

禁　止

長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁　止

概　要

SR-F09、SR-L09、SR-L05 は移動用に設計された、ハイパワー、ハイクオリティ、堅牢型のスピーカーシステムです。

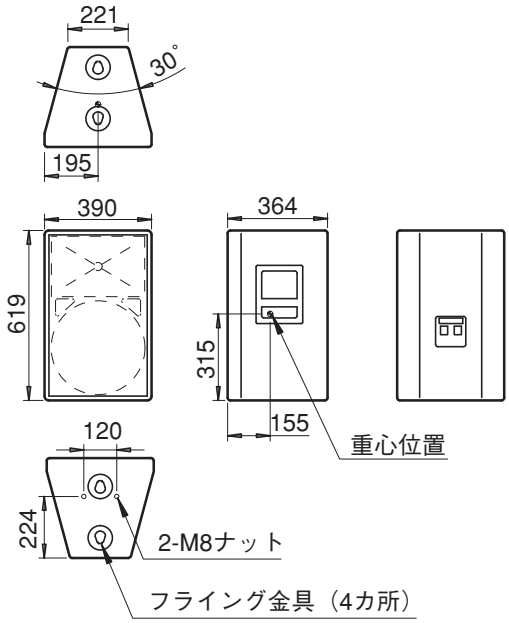
特　長

- SR-F09 は、パッシブネットワークを内蔵した、シングルアンプ駆動のスピーカーシステムです。（内部コネクターの接続を変更することで、バイアンプ駆動に切り換えることができます。）SR-L09、SR-L05 はサブウーハーシステムです。いずれもデジタルプロセッサーと組み合わせて使用します。
- SR-F09 の高域には 60˚ 水平× 40˚ 垂直の定指向性ホーンを使用しています。
- SR-F09 は天面、底面にフライング金具、底面には別売スタンドに取り付けるためのナットを備えています。
- 入力コネクターはノイトリック NL4MP およびねじ端子を使用しています。SR-F09 はスピーカーを経由して並列接続ができるように、ノイトリックコネクターを 2 個備えています。

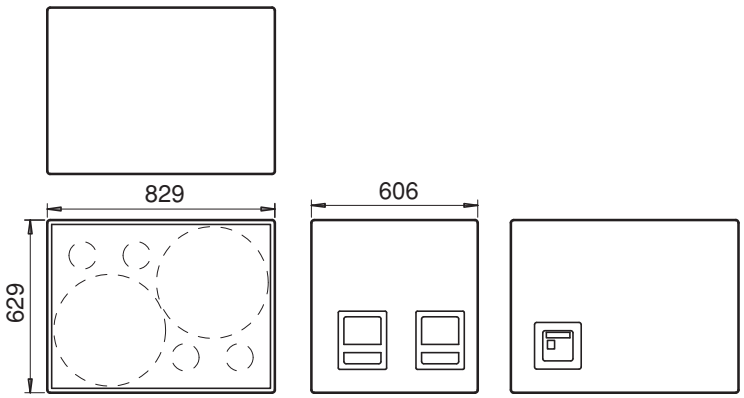
外観寸法図

［SR-F09］

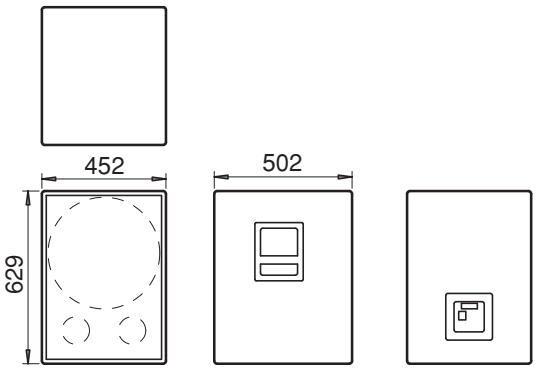
単位：mm



［SR-L09］

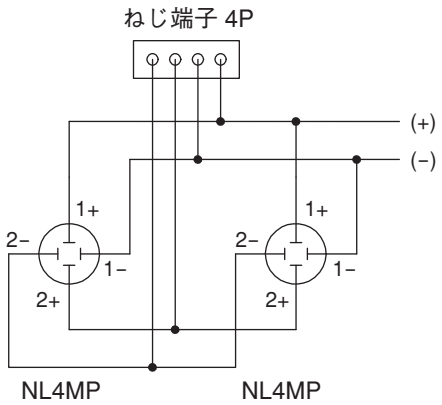


［SR-L05］

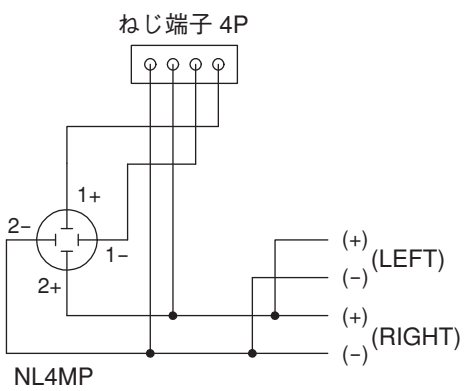


入力端子の結線図

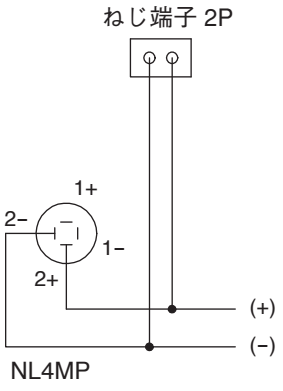
［SR-F09］



［SR-L09］



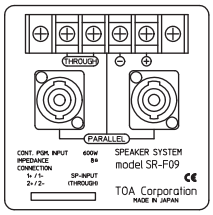
［SR-L05］



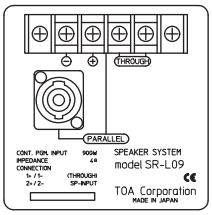
入力コネクター

● 各スピーカーの入力コネクターは、以下のとおりです。コネクターとねじ端子は内部で並列に結線されているので、どちらからでも接続できます。

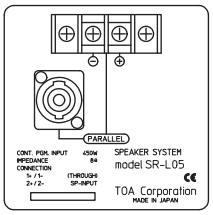
［SR-F09］



［SR-L09］



［SR-L05］



● ノイトリック NL4MP コネクターの各ピンは下表のとおり結線されています。

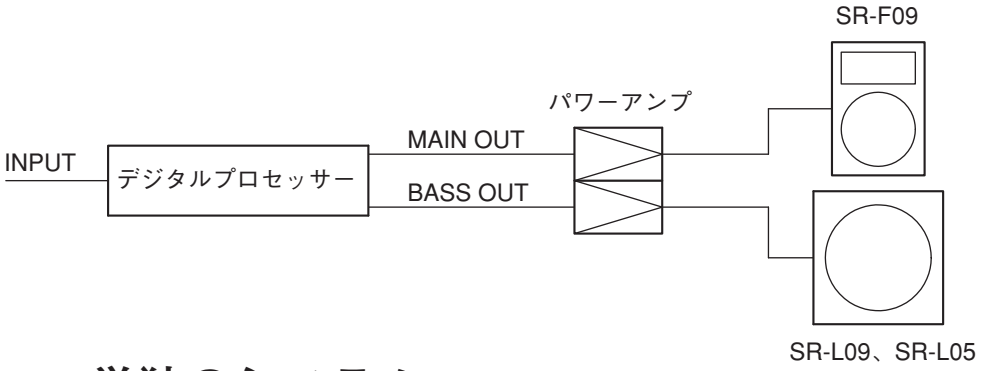
ピン番号	SR-F09	SR-L09	SR-L05
1 ＋	スピーカー ＋	—	—
1 －	スピーカー －	—	—
2 ＋	—	スピーカー ＋	スピーカー ＋
2 －	—	スピーカー －	スピーカー －

● ノイトリック NL4MP に適合するコネクター（接続ケーブル側）は、ノイトリック NL4FC です。

接続のしかた

■ サブウーハーを組み合わせる場合

デジタルプロセッサーの設定については、P. 11 をお読みください。



■ SR-F09 単独のシステム

デジタルプロセッサーの設定については、P. 11 をお読みください。

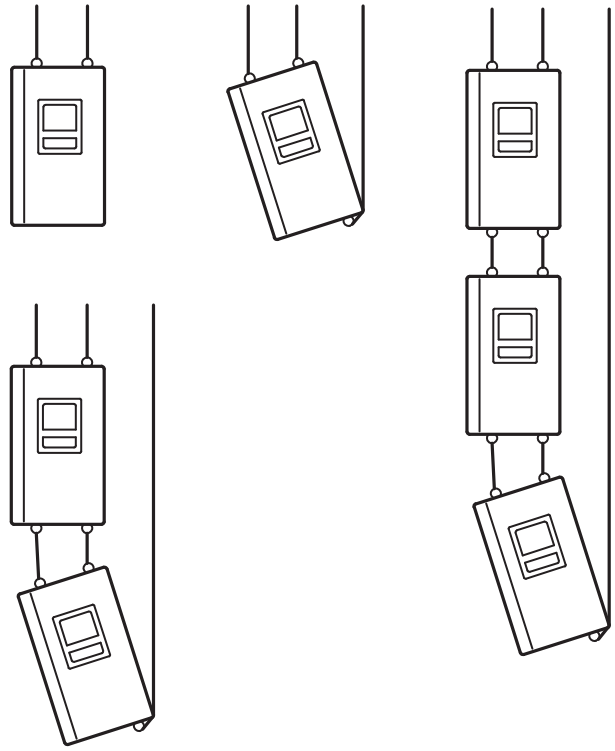
■ 接続するパワーアンプについて

接続するパワーアンプは、出力 400 W 以上のもの（8 Ω負荷時、1 チャンネル当たり）を推奨します。

フライングのしかた（SR-F09 のみ）

⚠警告　以下の工事については必ず専門業者にご依頼ください。

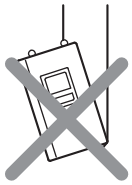
一般的なフライングの方法は下図のとおりです。



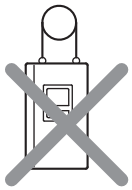
- 天面、底面にフライング金具（4 カ所）を備えています。
- 天面の吊り下げポイントは各スピーカーに 2 点以上設けてください。
- 垂直方向にスピーカーを連結する場合は、必ず 3 台までにしてください。

次のようなフライングは行わないでください。

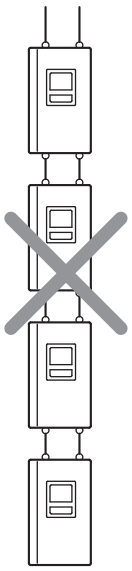
天面の吊り下げポイントが 1 点のみのフライング



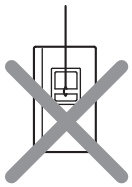
1 本のワイヤーのリング状使用



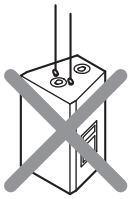
4 台以上の垂直連結



ハンドルによるフライング



底面のナットを使用したフライング



スピーカースタンド（SR-F09 用）

SR-F09 用のスピーカースタンドとして、ドイツ K&M（Köning & Meyer GmbH）社のスピーカースタンドをご使用ください。このスピーカースタンドは、スタンド本体とブラケット部分が別売になっています。ブラケットをスピーカーに取り付けるためのスピーカー取付ノブ（ボルトでも可）も別途ご用意ください。

スピーカースタンド：K&M 社 21300
スタンドブラケット：K&M 社 19580
スピーカー取付ノブ：M8 × 20

⚠注意

- 設置場所は、傾斜のない堅い床を選んでください。
- 通路など、人が足を引っ掛ける可能性がある場所での使用は避けてください。
- 屋外で使用する場合には、強風に十分ご注意ください。
- スタンドの高さをあまり高く伸ばすと、安定性が悪くなり危険です。
- 転倒の危険性がある場合は、必ず転倒防止の対策（ワイヤー止めなど）を施してください。

■ 使いかた（図 1 参照）

1 スタンドの脚を開く。

脚固定ノブをゆるめ、脚を外側に開いた後、脚固定ノブをしっかりと締め付けます。

ご注意

このとき、ステーが地面に対して水平になるように脚を開いてください。

2 スタンドブラケットをスピーカーに取り付ける。

スピーカー取付ノブと平座金を使って、ブラケットをスピーカーにしっかりと取り付けます。（図 2 参照）

3 スピーカーをスタンドに取り付ける。

ブラケット固定ノブをゆるめた後、スピーカーをスタンドにのせます。
スピーカーの向きを決めた後、ブラケット固定ノブをしっかり締め付けて、固定します。

4 スタンドの高さを調節する。

4-1 高さ固定ノブをゆるめる。

4-2 ハンドル固定ねじをゆるめて、ハンドルを起こし、再びハンドル固定ねじを締める。

4-3 ロックボタンを押したまま、ハンドルを回して高さを調節する。

スピーカーをのせた状態でも、ハンドルを回す力でスピーカーを高く上げることができます。

ご注意

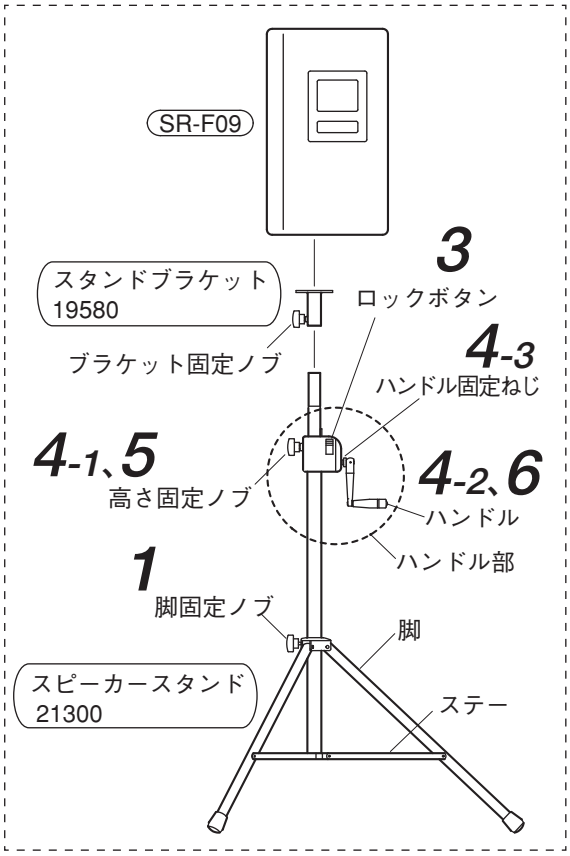
- ロックボタンを押したままの状態でないと、ハンドルは回すことができません。
- 高さ調節を完了するときは、ロックボタンから手を離し、シャフトがロックする状態で止めるようにしてください。ハンドルを少し動かしてがたつきを確認することで、ロックしているかどうかを確かめることができます。

5 高さ固定ノブをしっかりと締め付ける。

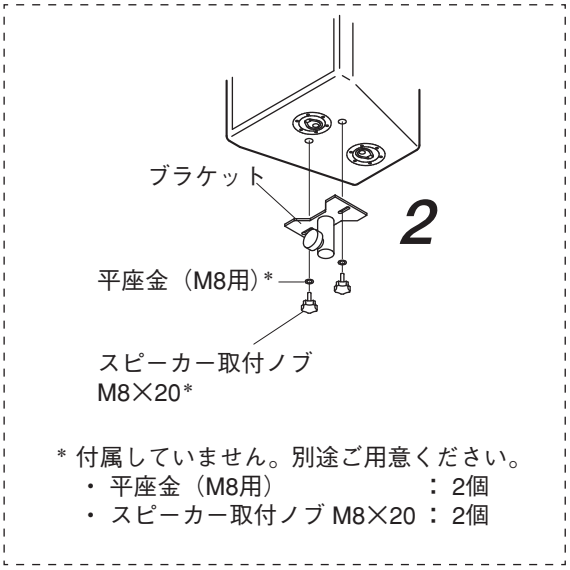
6 ハンドル固定ねじをゆるめて、ハンドルを上に倒し、再びハンドル固定ねじを締める。

※ 高さ調節のとき以外は、ハンドルを上に倒した状態にしておいてください。

〈図 1〉



〈図 2〉



* 付属していません。別途ご用意ください。
- 平座金（M8用） ： 2個
- スピーカー取付ノブ M8×20 ： 2個

● 使用後の取り外し

スタンド使用後は、上記の**手順 1 ～ 6** の反対の手順で、スピーカーを外して、スタンドをたたみます。

バイアンプ駆動への切り換え

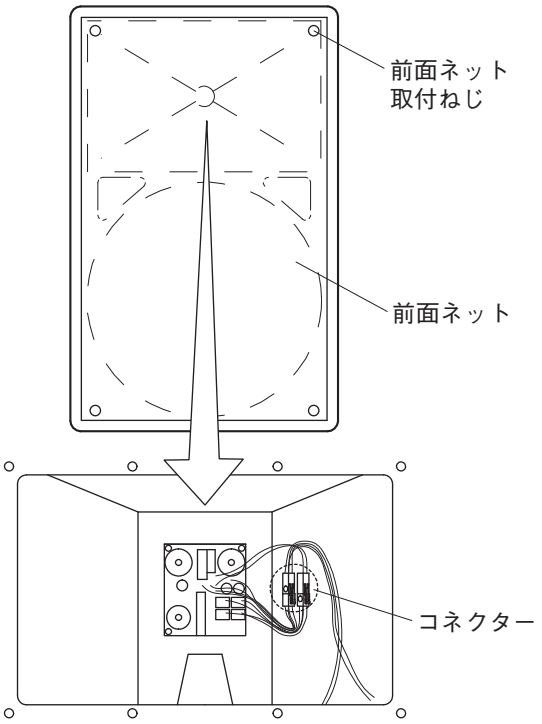
SR-F09 は、内部コネクターの配線を変更することで、バイアンプ駆動に切り換えることができます。
SR-L09 と組み合わせて使用する場合は、SR-L09 の内部配線も変更する必要があります。

■ 内部配線の変更のしかた

● SR-F09 の内部配線の変更のしかた

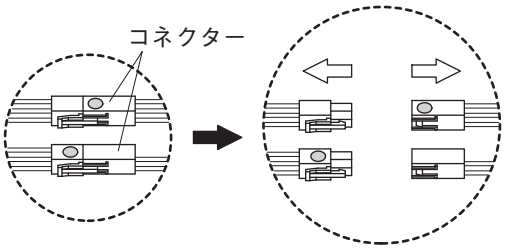
1 前面ネット取付ねじ（4 カ所）を外して、前面ネットを取り外す。

2 ホーンを、ねじ（8 カ所）を外して取り外す。

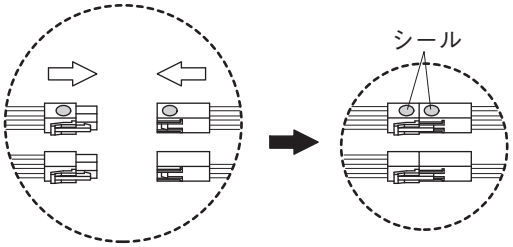


ホーンを取り外した図

3 エンクロージャ内のコネクターを外す。



4 シール付きのコネクター同士、シールなしのコネクター同士を差し込む。



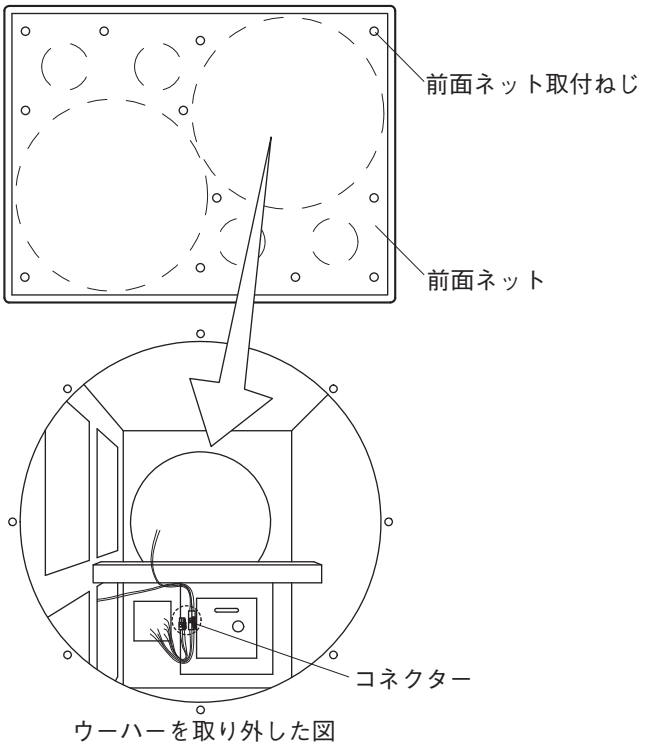
5 ホーンを元どおり、ねじで取り付ける。

6 前面ネットを元どおり、前面ネット取付ねじで取り付ける。

● SR-L09 の内部配線の変更のしかた

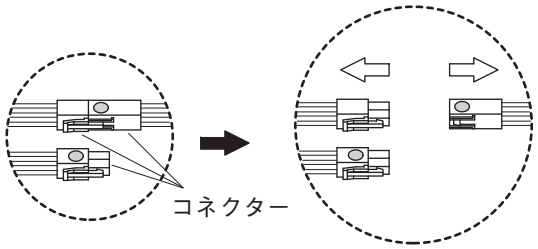
1 前面ネット取付ねじ（12 カ所）を外して、前面ネットを取り外す。

2 正面から向かって右側のウーハーを、ねじ（8 カ所）を外して取り外す。

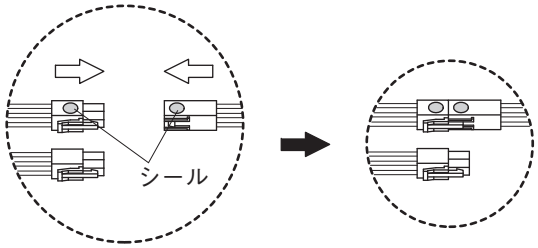


ウーハーを取り外した図

3 エンクロージャ内のコネクターを外す。



4 シール付きのコネクター同士を差し込む。



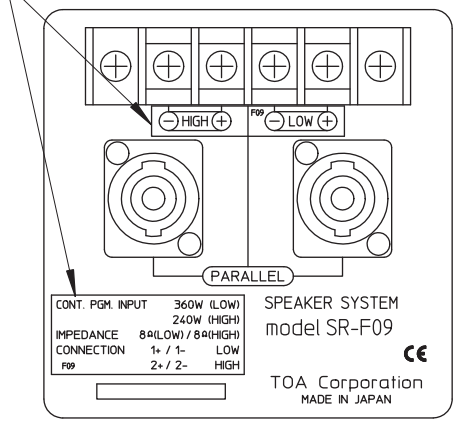
5 ウーハーを元どおり、ねじで取り付ける。

6 前面ネットを元どおり、前面ネット取付ねじで取り付ける。

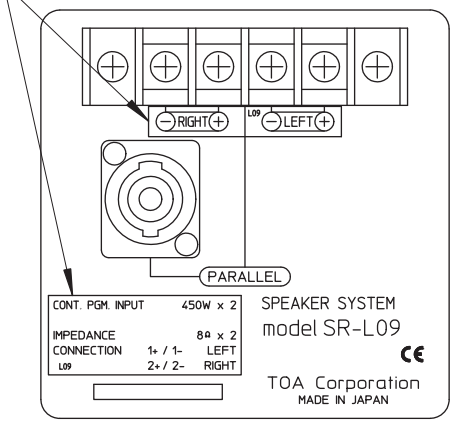
■ バイアンプ駆動時の入力コネクター

● 各スピーカーの入力コネクターは、以下のとおりの変更となります。付属のシールを貼って表示を変更してください。

SR-F09付属シール



SR-L09付属シール



● ノイトリック NL4MP コネクターの各ピンは下表のとおり結線されています。

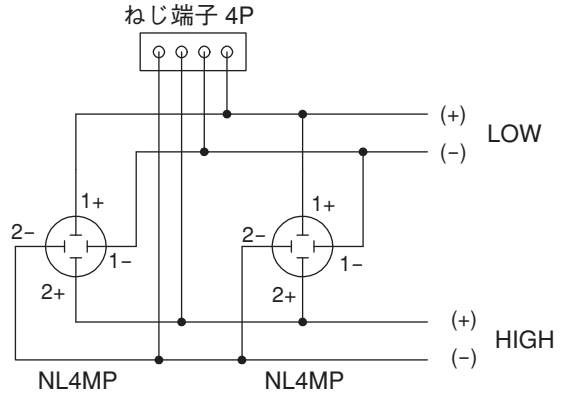
ピン番号	SR-F09	SR-L09
1 ＋	LOW ＋	左* ＋
1 －	LOW －	左 －
2 ＋	HIGH ＋	右 ＋
2 －	HIGH －	右 －

*「左」「右」は正面から見たウーハーの方向

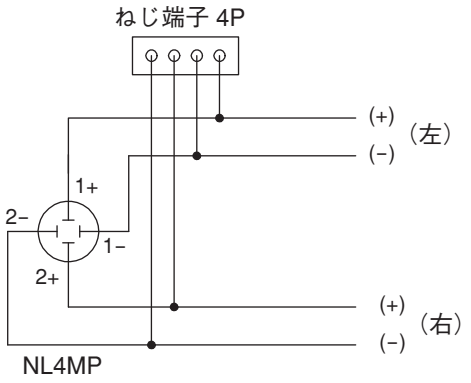
● コネクターとねじ端子は内部で並列に結線されているので、どちらからでも接続できます。

■ バイアンプ駆動時の結線図

［SR-F09］

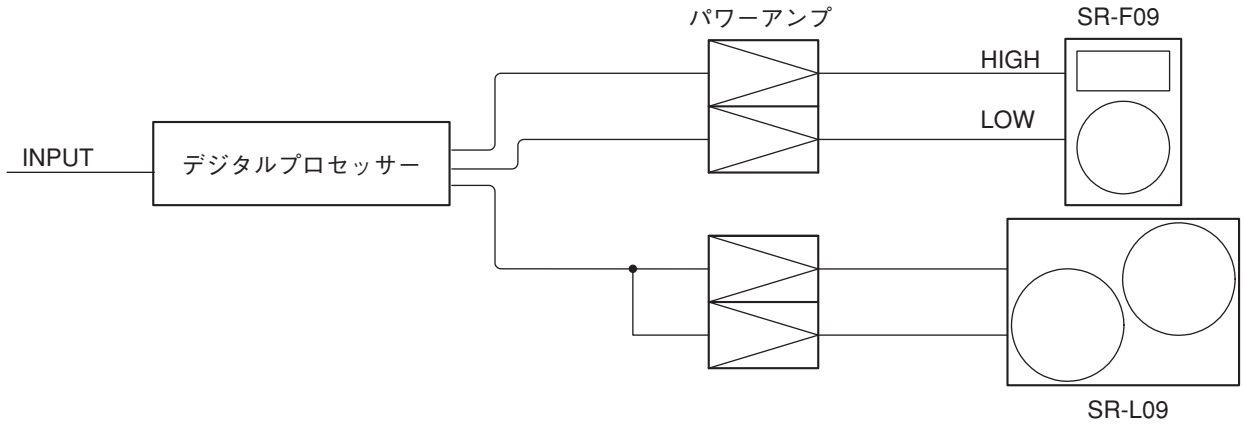


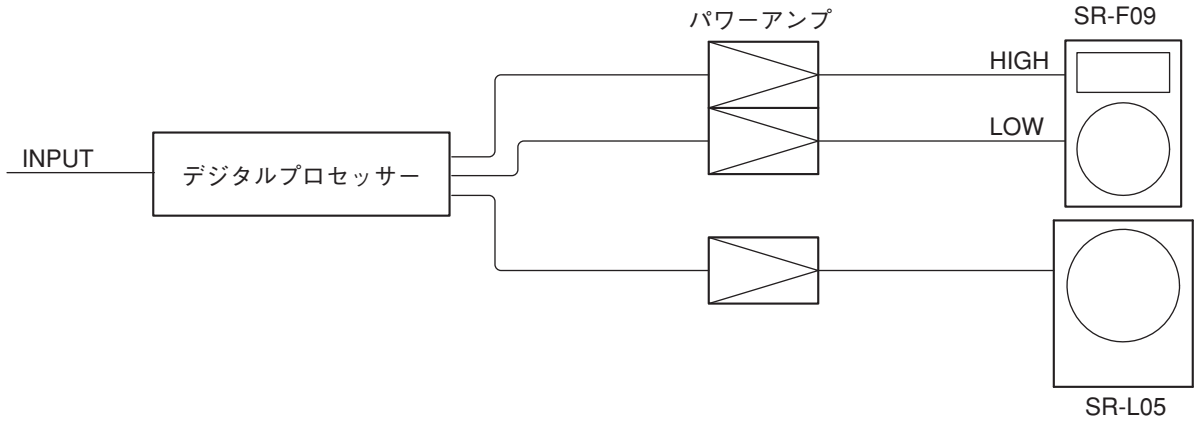
［SR-L09］

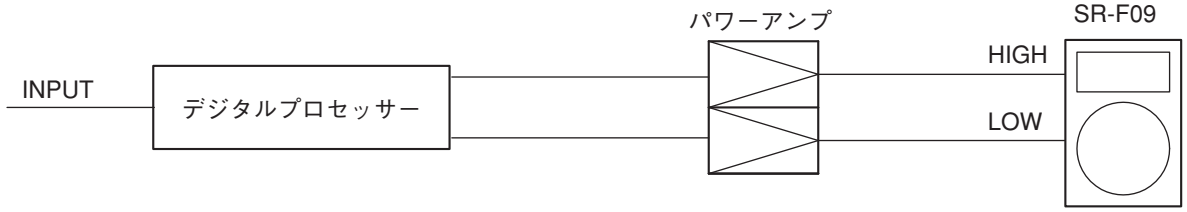


■ バイアンプ駆動時の接続のしかた

デジタルプロセッサーの設定については、P. 11 をお読みください。







デジタルプロセッサーの設定

［シングルアンプ駆動 SR-F09 ＋ SR-L09/L05］

チャンネル	Gain（dB）	Polarity	クロスオーバー・コンビネーション			フィルター				Delay（ms）
			HPF/LPF	TYPE	Freq.（Hz）	TYPE	Freq.（Hz）	Gain（dB）	Q	
SR-L09	＋6.0	INVERSE	—	—	—	LPF（12dB）	50	—	1.000	0
SR-F09	0	NORMAL	HPF（12dB）	LinkwitzRiley	70	—	—	—	—	0
						PEQ	200	＋3.0	1.414	
			—	—	—	PEQ	550	－3.0	2.997	
			—	—	—	PEQ	1.7k	－3.0	2.997	
			—	—	—	PEQ	16k	＋6.0	2.997	

［シングルアンプ駆動 SR-F09］

チャンネル	Gain（dB）	Polarity	クロスオーバー・コンビネーション			フィルター				Delay（ms）
			HPF/LPF	TYPE	Freq.（Hz）	TYPE	Freq.（Hz）	Gain（dB）	Q	
SR-F09	0	NORMAL	HPF（12dB）	LinkwitzRiley	70	—	—	—	—	—
			—	—	—	PEQ	70	＋8.0	1.414	
			—	—	—	PEQ	200	＋3.0	1.414	
			—	—	—	PEQ	550	－3.0	2.997	
			—	—	—	PEQ	1.7k	－3.0	2.997	
			—	—	—	PEQ	16k	＋6.0	2.997	

［バイアンプ駆動 SR-F09 ＋ SR-L09/L05］

チャンネル	Gain（dB）	Polarity	クロスオーバー・コンビネーション			フィルター				Delay（ms）
			HPF/LPF	TYPE	Freq.（Hz）	TYPE	Freq.（Hz）	Gain（dB）	Q	
SR-L09	＋5.0	NORMAL	HPF（24dB）	LinkwitzRiley	20	—	—	—	—	0.667
			LPF（24dB）	LinkwitzRiley	80	—	—	—	—	
			—	—	—	PEQ	40	＋2.5	4.318	
SR-F09 LOW	0	NORMAL	HPF（24dB）	LinkwitzRiley	100	—	—	—	—	0.292
			LPF（24dB）	LinkwitzRiley	1.0k	—	—	—	—	
			—	—	—	PEQ	160	＋5.0	1.414	
			—	—	—	PEQ	580	－3.5	2.079	
SR-F09 HIGH	－10.0	INVERSE	HPF（24dB）	LinkwitzRiley	1.0k	—	—	—	—	0
			—	—	—	PEQ	3.15k	－4.0	3.633	
			—	—	—	PEQ	11.8k	＋10.0	2.371	
			—	—	—	High Shelving	12.5k	＋3.5	—	

［バイアンプ駆動 SR-F09］

チャンネル	Gain（dB）	Polarity	クロスオーバー・コンビネーション			フィルター				Delay（ms）
			HPF/LPF	TYPE	Freq.（Hz）	TYPE	Freq.（Hz）	Gain（dB）	Q	
SR-F09 LOW	0	NORMAL	HPF（12dB）	LinkwitzRiley	30	—	—	—	—	0.292
			LPF（24dB）	LinkwitzRiley	1.0k	—	—	—	—	
			—	—	—	PEQ	100	＋6.0	1.414	
			—	—	—	PEQ	580	－3.5	2.079	
SR-F09 HIGH	－10.0	INVERSE	HPF（24dB）	LinkwitzRiley	1.0k	—	—	—	—	0
			—	—	—	PEQ	3.15k	－4.0	3.633	
			—	—	—	PEQ	11.8k	＋10.0	2.371	
			—	—	—	High Shelving	12.5k	＋3.5	—	

仕　様

[SR-F09]

エンクロージャ形式	バスレフ型
許　容　入　力	連続ピンクノイズ：200 W 連続プログラム　：600 W
定格インピーダンス	8 Ω
出力音圧レベル	100 dB（1W、1m）
周波数特性	70 Hz ～ 20 kHz *
クロスオーバー周波数	1 kHz *
使用スピーカー	低域：30 cm コーン型 高域：定指向性ホーン 60°（水平）× 40°（垂直）＋コンプレッションドライバー
入力コネクター	ノイトリック NL4MP × 2 および M4 ねじ端子、バリアー間隔 10 mm
仕　上　げ	エンクロージャ　：合板、黒（マンセル N1.0 近似色）、塗装 パンチングネット：圧延鋼板、黒（マンセル N1.0 近似色）、アクリル塗装
寸　法	390（幅）× 619（高さ）× 364（奥行）mm
質　量	35 kg
付　属　品	入力コネクター表示シール ... 2

* 別売のデジタルスピーカープロセッサー DP-SP3 による推奨パラメーター適用時
※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

[SR-L09、SR-L05]

品　番	SR-L09	SR-L05
エンクロージャ形式	バスレフ型	
許　容　入　力	連続ピンクノイズ：300 W 連続プログラム　：900 W	連続ピンクノイズ：150 W 連続プログラム　：450 W
定格インピーダンス	4 Ω	8 Ω
出力音圧レベル	96 dB（1W、1m）	93 dB（1W、1m）
周波数特性	35 Hz ～ 1 kHz	
クロスオーバー周波数	125 Hz *	
使用スピーカー	38 cm コーン型× 2	38 cm コーン型
入力コネクター	ノイトリック NL4MP および M4 ねじ端子、バリアー間隔 10 mm	
仕　上　げ	エンクロージャ　：合板、黒（マンセル N1.0 近似色）、塗装 パンチングネット：圧延鋼板、黒（マンセル N1.0 近似色）、アクリル塗装	
寸　法	829（幅）× 629（高さ）× 606（奥行）mm	452（幅）× 629（高さ）× 502（奥行）mm
質　量	67 kg	36 kg
付　属　品	入力コネクター表示シール 2	

* 別売のデジタルスピーカープロセッサー DP-SP3 による推奨パラメーター適用時
※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル（固定電話専用）	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。 受付時間 9：00 ～ 17：00（土日、祝日除く）	**0120-108-117** ナビダイヤル　0570-064-475（有料） FAX　0570-017-108（有料） ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ https://www.toa.co.jp/

TOA 株式会社

133-01-00159-02